

指定管理導入施設実績評価シート（令和6年度）

		施設所管課	健康福祉部 福祉政策課
施設名	大津市ふれあいプラザ		
指定管理者	社会福祉法人 大津市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日		
指定管理料	年額20,722,000円(令和6年度) (総額62,790,103円)		
設置目的	市民の福祉の増進及び市民の交流の促進を図るため、大津市ふれあいプラザを設置する。		
業務内容	・大津市ふれあいプラザ条例第3条第3号に規定する事業の実施に関する業務 ・大津市ふれあいプラザ条例別表に掲げるホール等の施設の使用の許可に関する業務 ・大津市ふれあいプラザの施設及び設備の維持管理に関する業務		

所管課 総合評価	I～IVによる総合評価	総合評価コメント
	B (良好)	新型コロナウイルス感染症による市民の社会生活の変化や、利用団体の高齢化など収支のマイナスが課題として残った。 新規の利用団体にも貸室を使っていただけるよう、周知していく必要がある。

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
I 実施体制	施設の設置目的の達成 □ 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	条例、仕様書、事業計画書、事業報告書	B (良好)	事業計画に基づき運営した	B (良好)	事業計画に基づき運営していた
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件 □ 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 □ 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 □ 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 □ 障害者の雇用促進に努めていたか。	仕様書、事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査、労働条件モニタリング	B (良好)	事業計画に基づき運営し、出勤状況等も適正である	B (良好)	事業計画に基づき運営し、出勤状況等も適正であった
	職員の研修 □ 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、研修資料等	B (良好)	事業計画に基づき実施した	B (良好)	事業計画に基づき実施していた
	法令等遵守 □ 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係法令等、実地調査	B (良好)	法令・条例等を遵守した	B (良好)	法令・条例等を遵守していた
	個人情報保護・情報公開 □ 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	仕様書、協定書、管理方法（実地調査）	B (良好)	適正に管理をおこなった	B (良好)	適正に管理を行っていた
	管理記録 □ 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 □ 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B (良好)	適切に整備・保管した	B (良好)	適切に整備・保管していた
	連絡体制 □ 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 □ 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類	B (良好)	常に市とも連絡、調整を行い、報告書等についても速やかに提出した	B (良好)	常に連絡、調整を行い、報告書等についても速やかに提出していた
	緊急時対応 □ 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 □ 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B (良好)	事業計画に基づき実施した	B (良好)	事業計画に基づき実施していた
《I 総括》 業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】			B (良好)		B (良好)	

指定管理導入施設実績評価シート（令和6年度）

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅱ 内容・水準	施設管理 □ 開館日、開館時間を遵守していたか。 □ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	条例、規則、仕様書、事業計画書、日報	B (良好)	開館日・時間を遵守し、常に適切に判断を下した	B (良好)	開館日・時間を遵守し、常に適切に判断していた
	利用状況 □ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	適正な水準であった	B (良好)	適正な水準であった
	利用者対応 □ 利用許可や案内等、職員の対応は迅速かつ適切に行っていたか。 □ 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 □ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B (良好)	適切に実施した	B (良好)	適切に実施していた
	業務運営(全体) □ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B (良好)	事業計画書に基づき、概ね実施した	B (良好)	事業計画書に基づき、概ね実施していた
	自主事業運営 □ 自主事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 □ 事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。 □ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。	仕様書、自主事業計画書、自主事業報告書、実地調査	B (良好)	事業計画書に基づき、概ね実施した	B (良好)	事業計画書に基づき、概ね実施していた
	維持管理 □ 施設、設備の保守管理(点検・修繕)を計画的に実施したか。 □ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 □ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 □ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 □ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に行い、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B (良好)	適切に実施した	B (良好)	適切に実施していた
	情報提供 □ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 □ ホームページ等の管理及び更新は適切に行っているか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B (良好)	適切に実施した	B (良好)	適切に実施していた
	環境配慮 □ 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B (良好)	ご利用者の方々にも協力をしていただいた	B (良好)	ご利用者の方々にも協力をしていただいていた
	ユニバーサルデザイン等への配慮 □ ユニバーサルデザイン、バリアフリーへの配慮、障害者に対するの合理的配慮の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B (良好)	適切に務めた	B (良好)	適切に努めていた
	意見・要望・苦情 □ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 □ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B (良好)	常に把握し、早急に対応を行った	B (良好)	常に把握し、早急に対応を行っていた
	利用者アンケート □ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B (良好)	適正に対応した	B (良好)	適正に対応していた
《Ⅱ総括》 業務の内容・水準に関する評価【標準11項目／当施設11項目】			B (良好)		B (良好)	
Ⅲ 収支等	経理事務 □ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 □ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 □ 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査（金庫等）	B (良好)	適切に管理をおこなった	B (良好)	適切に管理を行っていた
	収支状況 □ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入－支出はプラスとなっているか。 □ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	C (課題含)	人件費・光熱水費等が上がり、収入は多くを見込めない為プラスは難しい	C (課題含)	人件費・光熱水費等の支出額が増加したが使用料収入では賅うことが難しかった
	経費節減の取組 □ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 □ 清掃、警備、保守点検、修繕等の第三者への委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、委託契約書、実地調査	B (良好)	積極的に実施している	B (良好)	積極的に実施していた
	《Ⅲ総括》 経費の収支等に関する評価【標準3項目／当施設 項目】		B (良好)		B (良好)	
Ⅳ その他 （独自）	その他 □ 努力事項として掲げた取り組みを推進したか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B (良好)	適正に実施した	B (良好)	適正に実施した
	《Ⅳ総括》 その他に関する評価【当施設 項目】		B (良好)		B (良好)	

指定管理導入施設実績評価シート（令和6年度）

主な成果 (全体)	使用料(利用料)	目標	5,813,000 円	⇒	実績	4,038,500 円
	稼働率	目標	- %	⇒	実績	52.3 %
	件数	目標	3,600 件	⇒	実績	3,326 件
	【指定管理者コメント】					
	有料利用者では、大きな部屋を使われることがコロナ以降戻ってきていない実態がある。会議もリモート等で行われるため、必要性がなくなっている。また、コンスタントに利用されている団体の方々が高齢化しており、利用が減ってきている事実もある。					
	【施設所管課コメント】					
新型コロナウイルス感染症の流行による市民の社会生活の変化及び利用団体の高齢化に伴い、貸室の利用率の低下が顕著になってきたが、自主事業を工夫するなどして、市民の方に貸室のことを知っていただくことができた。						

自主事業 実施による 成果	＜主な自主事業の実施状況＞				
	事業名	指定自主事業・自主事業の別	事業内容	実施状況 (実施・追加・未実施)	特記事項(「未実施」の場合はその理由)
	手づくり体験講座	自主事業	みんなで楽しめる文化体験ブースを設け、参加者間の交流を深める	実施	
	ヨガ体験	自主事業	運動不足解消やリラックス効果など、日々の疲れをリセットするヨガ体験	未実施	依頼していた講師の体調不良が長引き、実施に至らなかった。
	健康体操体験	自主事業	地域の高齢者を対象とした軽運動の体験会を開催し、運動不足解消を図る	実施	
	シニア教養講座	自主事業	地域の高齢者を大正に健康推進、教養向上を目的とした講座	実施	
	【指定管理者コメント】				
	ふれあいプラザへの認知は上がってきているように感じるが、まだまだ一般の方の利用がすくないため、自主事業等の実施によるアピールが必要と感じた。				
	【施設所管課コメント】				
	自主事業を実施することに加え、SNSを利用するなどして幅広い年齢層に貸室について知ってもらう必要があると考えている。				

課題及び 課題解決 の結果	【指定管理者コメント】
	備品が老朽化しているものもあり、所管課と協議して今後どうしていくか検討していきたい。
	【施設所管課コメント】
	新規購入や修繕での対応が難しいものについて、市の他施設から譲渡いただいたもので対応していたが、新規購入も検討する必要があると考えている。

特記事項等	
-------	--

※評価基準: 項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準(A～D)は、モニタリングチェックシートと同様とする。

